

前年度に引き続き外科は2人体制で診療を行っている。2017年度の手術件数は、前年度の80例に対し97例と増加した。そのうち悪性新生物は24例となった。内訳は胃癌が7例、大腸癌は14例で、うち直腸癌は4例だった。また腹腔鏡下結腸切除を昨年同様4例施行した。肝胆膵領域では肝切除を1例に行った。乳癌は1例だった。全麻手術は49例で、前年度39例から一昨年の52例近くまで増加した。

胆石・胆嚢炎では計14例に手術を行い、腹腔鏡下胆嚢の手術を全例に行い鏡視下手術の遂行率は100%だった。急性虫垂炎は5例で、全例に鏡視下手術を行った。鼠径・大腿ヘルニアは24例だった。

鏡視下手術の総数は26例で全手術症例の27%を占めた。

2017年度は済生会熊本病院脳神経外科の協力で正常圧水頭

症に対するL-Pシャント手術を2例行った。

当科では、熊本市内の病院で癌治療を行い、その後遠距離のため通院治療が困難な患者に対して外来化学療法を提供している。

終末期の患者でも希望するかぎり周辺の訪問看護ステーションと協力し、在宅ケアを提供している。最期を病院で希望されていても、家族とともに在宅ケアを行っていくことで在宅での看取りを希望されるような場合もある。在宅ケアでは家族が主となるため、ケアへの関与の度合いが高く、最期まで介護できたという気持ちを持たれる遺族が多いように感じられる。患者の在宅の希望と遺族ケアの観点からも今後も努力していきたい。

手術件数		
胃癌		7
（全摘）	3	
（切除）	4	
（鏡視下）	1	
結腸癌		10
（鏡視下）	4	
直腸癌		4
結腸切除		1
（鏡視下）	1	
胃バイパス術		2
イレウス		2
（鏡視下）	1	
肝切除		1
胆嚢摘出術		14
（鏡視下）	14	
虫垂切除術		5
（鏡視下）	5	
鼠径ヘルニア		23
大腿ヘルニア		1
乳癌		1
褥瘡		5
体表軟部		10
CVポート挿入		4
CVポート抜去		2
その他		1
タップテスト		2
L-Pシャント		2
合計		97

麻酔内訳	
全身麻酔	49
腰椎麻酔	26
局所麻酔	22
合計	97

